



Ferris University

2006 No.4

# フェリス女学院大学同窓会会報



カイパー記念講堂

〈聖句〉

あなたの全身が明るく、少しも暗いところがなければ、ちょうど、ともし灯がその輝きであなたを照らすときのように、全身は輝いている。

ルカによる福音書 11章36節

# いと小さき者に

理事長 小塩 節



横須賀市内に、三代にわたる有名な小児科「広瀬医院」がありました。昨年までその現役院長をおつとめだった広瀬誠医師が急逝され、残念ながら小児科は惜しまれつつ閉院となりました。小児科は仕事がついついので、若い医師達はこの科に進もうとしないのです。

さて、フェリスにお嬢御さんをお托しにもなり、えにし浅からぬこのお医者さま。あるときミャンマー（ビルマ）の広大な無医村の惨状を聞くと、お友だちと語らい、多くの医師・看護師がアジアやアフリカに援助に出かけている一翼として、十三人の医療チームを結成して出かけた。ミャンマー軍政府は村での滞在を五時間と定め、時がくると剣着き鉄砲で国外退去を令ずる。それにひるむことなく、内科・外科のみならず何と歯科と技工士のメンバーも加え、大荷物の中に横浜Y.M.C.A.が用意してくれた歯ブラシ数千本も持っていました。口の中に万病のもとがありますから。

超多忙の人たちですので、クリスマスあとの暮のお休みに出かけ、軍政府も段々折れて、九年目には五日間の診療を許すようになりました。毎回数千人の人びとを診療しました。治療効果は驚くべく高いものがあり、万病が次々と激減。最後の年の昨年十二月三十一日をもって軍政府の許可が切れ、撤収が決まった朝、十三人一同村の広場で最後の礼拝を立ったまま、丸く納めて守り、聖書の「いと小さき者になしたるは、我になしたるなりし（いと小さき者になさざりしは、我になさざりしなり）」という主のことは広瀬さんが朗読し、僅かにそのみ旨のようになしたことを感謝して祈った。その直後、激痛で倒れ、一月一日、過労による胃穿孔で急逝。最後は顔に当てられた酸素マスクを二度もむしり取って「患者さんが待っている」とくり返したそうです。死顔は崇高だった。

帰国直前に村人たちが広場に、何と病院を建て、首都ヤンゴンから研修医を定期的に迎えることに決まったという。その村人の主（おさ）は、祖父母、両親、家族をあゝの第二次大戦末期に全滅した日本軍兵士に村を荒らされ、ブチ殺された人たちの一人でありました。つまり、この人たちが憎むべき日本人に対して病院を黙々と自ら建てて報いたのです。「いと小さきもの」Toyo Othersになしたことは、逆にまたかえされてくるのであります。

# デジタルとアナログ

学院長 岡野 昌雄



最近ニューヨーク在住の妻の友人から、学生時代の写真がメールと一緒に送られてきました。今から四十年以上も前、彼女は交換留学生として私たちが学んでいた大学に一年間在学し、その間キャンパス内の寮で妻と同室でした。そのときは既に卒業して京都にいましたので、彼女に直接会ったことはありませんでした。女に直接会ったことはありませんでした。彼女が、妻からは結婚後も折に触れて、彼女がいかにすばらしい女性であるかということを開かされてきました。特に二人で北海道を旅行したときの話は、写真を見ながら延々と続いたものでした。よほど気が合ったのでしょうか。それ以後も文通だけは続けていたようですが、四年前に用事で来日した彼女と再会し、私もはじめて会いました。聞いていた通りのすばらしい女性で、妻は彼女の滞日中何回か会っていました。共に二十代はじめの青春時代に生活を共にした経験は、国境を越えて深い友情を育んでくれたようです。

彼女が送ってくれた五十枚ほどの写真のうち、妻が写っているのは十枚ほどで、私も見たことがあります。あとは旅行中に見かけた風景や人々の写真で、もちろんすべて白黒です。しかも当時はまだデジタルカメラなどありませんでしたから、写真はすべてアナログのはずで、メールと一緒に送ってくれたのは彼女がスキャンしてくれたのでしよう。写っている対象はどれも今では懐かしいと言うか珍しいと言うか、北海道のひなびた風景や人々の姿ですが、それをほるる遠方からデジタルであつという間に送られて、それを自分がパソコン画面で見ている現実には時の流れを強く感じました。

今ではパソコンを使って、行ったことのない世界を旅行したり、古い時代にタイムスリップしたり、さまざまな経験をすることができそうですが、しかし私たちにとって本当に力になるのは直接的な出会いの経験、その意味ではアナログの経験でしょう。同じキャンパス、同じ時期に、時には教室で机を並べ、時にはカフェテリアでお茶を飲みながらおしゃべりに興じた経験がなければ、私たちの生活は何と味気ないことでしょうか。いとも簡単に数十枚の写真があつという間に送ってくるなど、コンピューター社会のさまざまな恩恵を思いながら、アナログとデジタルの幸せな共存を願ったことです。

# 本学の近況について

学長 本間 慎



ました。

■特色G P・「フェリスの一冊の本」―読書の種を蒔く  
図書館は学生に本を貸し出すだけでなく、学生を中心として全学生が「一冊の本を読み、感想を語り合う」運動を数年前から実施してきており、その成果は学生の貸出冊数が私大平均の3倍になっています。今後は授業と連帯してさらなる発展を期します。

■現代G P・「若い女性の視点からの音楽コンテンツ創造」  
学部改革によって音楽芸術学科が誕生し、クラシック音楽にとらわれず、「アニメ・ゲーム音楽政策」「マルチメディア著作権ビジネス」「メディア・アート」など、魅力的な音楽コンテンツの創造とそうしたコンテンツ・クリエーターを育成します。

本学の発展のために、いつもご協力頂いている同窓生のみなさんにはご健健でお暮らしのことと推察申し上げます。お蔭さまをもちまして本学も一歩一歩前進しています。

昨年度、文科省へ申請していた3件のG P (Good Practice) が採択されました。いずれも採択率10数%という難関を突破したものです。

文科省のG Pの趣旨は、大学教育改革の支援として「大学教育への取組が一層促進されるよう、各大学が取り組む教育プロジェクトに対し、国公立大学を通じた競争原理に基づいた優れた取組を選定するとともに、重点的な財政支援を行い、高等教育の更なる活性化を図る。」ものとして、二種類のG Pがあります。(多額の補助金が100%支給)

(1)特色ある大学教育支援プログラム(特色G P)、(2)現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代G P)前者に1件、後者に2件が評価され、採択され

■現代G P・「地球温暖化抑制に向けた環境教育拠点の形成」―地域に開かれたエコキャンパスと環境情報発信による地域連携  
女性こそ環境問題に高い見識をもち、次世代の生命を大切にしたいとの本学の理念と学生の熱意とが合致し、学内にビオトープ、生ゴミのコンポスト化などに取り組み、さらに、風力発電、太陽光発電、太陽熱温水器、クールチューブなど省エネや雨水利用、省エネ親子講座の実施など地域の人々とともに取り組んでいます。

## 維持協力会募金コンサートの案内

フェリス女学院維持協力会は、学院をサポートする目的で設立されて10年が経ちました。

私達三同窓会は、少しでもお役に立てますよう会員にお声を掛け、入会される方々を募って参りました。そして皆様のご支援は後輩達が充実した学校生活を送れるように活用されております。

この度、十月九日(月・祝)に維持協力会募金コンサートをカイパー記念講堂に於いて開催することになりました。

「天地に響くモーツァルト」と題し、はじめは学院理事長小塩節先生によるモーツァルト生誕二五〇年を記念した講演です。ご存知のとおり先生はゲーテ研究の権威でいらっしゃいます

が、音楽をはじめドイツ文化全般に造詣が深く、また新刊「モーツァルトへの旅」を出版されました。コンサートは、前音楽学部長でいらしたバリエットの渡邊明先生、ソプラノの平松英子先生、ピアノの黒川浩先生により演奏されます。

小塩先生をはじめ、演奏してくださいる先生方もボランティアで出演して下さいます。

今回の収益金は全て、維持協力会の資金とし、学院施設の建設等に利用されます。

三同窓会では、全面的に協力する事にいたしました。どうぞ多くの同窓生のご協力を心よりお願いいたします。チケットは三〇〇〇円です。

各同窓会へ直接お申し込み下さい。

金子 和恵



「Fグループ」〇四五―〇六八―一六七四〇  
「りてら」〇四五―〇八二―二八六九二  
「りべるて」〇四五―〇六六―二〇七五〇

# りべるて・Fグループ・りてら 合同総会

2006年4月29日・緑園キャンパスにて



第四回合同総会は、生憎の雨にもかかわらず、緑園キャンパスに多数の会員が集い開催されました。

はじめに各同窓会がそれぞれの総会を聞き、一同チャペルに移り、大学チャブレン廣石望先生の司式により礼拝はとり行われました。

次に同窓会を代表し、りてら田辺会長よりご挨拶とFグループ大谷会長、りべるて金子会長の紹介がありました。

大学より本間学長のご挨拶をいただきました。少子化による受験生の減少を心配したところ、フェリスの教育に対する受験生の期待の高さ、センター試験導入等で昨年よりも35%も受験者数を増やしたこと、文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム、特色GP」に提出した3点のプログラムが全て採用されたとのお話を伺い、大学が一丸となつて取り組まれている様々な事柄を頼もしく伺いました。

続いて、音楽学部新卒業生によるソプラノ独唱とピアノの演奏を楽しみました。

そして、校歌を全員で歌いチャペルをあとにしました。

その頃には雨も上がり恒例の記念撮影、懇親会となりました。



ご来賓の小塩理事長、岡野学院長よりお話を伺い、各グループごとに先生方とごやかな歓談のひと時を過ごしました。

来年は四月三十日(月)祝いです。皆さまお誘い合わせの上、ご参加下さいますようお願い致します。



## 第17回 りべるて総会

去る4月29日(土)キターホールにて総会が開催されました。

初めに、金子会長よりご挨拶と、昨年4月に施行された個人情報保護法に基づき、学院や同窓会が会員の個人情報をおしく管理している事、各方面で活躍している同窓生を講師に迎えての講習会について、バザー寄贈品のお願ひ、収益金については今年度から全額を学院へ寄付する旨のお話がありました。

今年は友井先生、古川先生のご出席を賜りお話をさせて頂きました。その中で友井先生は「くば大学の先生のお話を紹介され、「本物を見つけた事は大切な事。」とお教え下さいました。今回初めてご出席された古川先生からは、フェリスとのかかわりの中で、「フェリスは夢のある学校。家政科はなくなつても母校があるのは幸ひ。母校はありがたい。」と励ましのお言葉を頂きました。

続いて議事に入り、2005年度活動報告、決算報告、会計監査報告が承認されました。引き続き2006年度活動計画(案)、予算(案)についても審議され承認されました。

今年度は、委任状を含め1887名の出席者でしたが、例年より出席者が多かったのは嬉しい事でした。この総会が定着し参加者が増える事を役員一同願つております。今年度も、総会が恙無く終了しました事を感謝と共に「ご報告致します。

(報告・岩江真理子)



## Fグループ総会

4月29日緑園チャペルにおいて、久保浩先生、福岡陽先生、木村圭三先生をお迎えして、69名の同窓生が集いFグループ総会が開催されました。

まず大谷会長より、同窓会として大学を支援して行きたい旨、また学院あけての行事として10月に開催の決まった募金コンサートに、是非ご協力をお願いしたいとの挨拶があり、議事に入りました。05年度会計報告、会計監査報告、活動報告、06年度予算(案)、活動予定が報告され、それぞれ承認されました。

次に選挙管理委員長から来年3月に会長選挙が実施されるとの予告がありました。さらに各支部から活動報告がなされました。引き続き新学部長の久保先生からは、改組後の音楽学部の活発な活動状況や、今年もバラエティに富んだ新入学生を迎えられたことなどのお話をいただき、今後の音楽学部の発展に大いに期待を持ちつつ閉会となりました。

本年も多くの皆様の同窓会活動へのご参加を、心よりお待ちしております。

(報告 般若澄子・30回)



## 第22回 りてら総会

日時 四月二十九日  
於 八号館大会議室

来賓 文学部長 渡辺浪二先生  
国際交流学部長 馬橋憲男先生  
りてら総会は、新任の両学部長先生をお迎えしてスタートしました。

田辺会長の挨拶に続き、四月八日の幹事会で承認された昨年度事業報告、決算報告、シヨップ会計報告、今年度予算案などが報告、説明されました。

ご出席の先生方からは新入生のレベルが向上しているという嬉しいお話がうかがうことが出来ました。

その後出席者の自己紹介、フェリスでの思い出などが語られながら閉会しました。

(報告 大矢節子・71)



## 音楽学部新卒業生演奏

\*ソプラノ独唱

P・マスカーニ

カヴァレリアスチカーナより アウエマリア

\*ピアノ独奏

A・スクリャーピン

12の練習曲作品8より 11番変ロ短調

大浪 智紗  
ピアノ 本多 頼子  
野中 有子



## 二〇〇五年度卒業式

同窓会では、今年、  
● 文学部 二九六名  
● 国際交流学部 二〇九名  
● 音楽学部 一〇五名  
● 大学院 四四名  
の卒業生をお迎えすることができました。



# りべるて

Vol. 18

## 「りべるての皆様へ」

会長 金子 和恵



りべるての皆様、ご健勝にお過ごしでしょうか。

今年も会報をお届けできますことは、寄稿並びに編集にご尽力下さいました多くの方々のお蔭と厚くお礼申し上げます。

この一年、同窓会は会員の為にどの様に活動したら良いか、話し合いを重ねて参りました。

その中で、遠方にお住まいの方々には会報によりフェリスで過ごした青春時代に想いを馳せていらつしやる。また、近くても行事等に参加できない方のために、活動はもとより、山手の風も一緒に届けら

れる紙面作りを目指しました。ご自分も一緒に活動していると思つていただきたいのです。そして、いつの日か総会に、山の行事に参加していただきたいです。

さて、四月二十九日の総会は、三十名近くの同窓生を緑園キダーホールにお迎えして開催いたしました。いつも私達を暖かく見守りお導きくださる友井ゆり子先生、はじめにご出席くださいました古川英先生、おふたりのお元氣なお姿と楽しいお話を伺うことができました。

同窓会の活動は、会員の住所管理が大きな柱です。しかし転居等住所不明となられた方をこちらから調べることは困難です。昨年施行された個人情報保護法も一因です。もし、お友達で会報等届いていない方をご存知でしたら、ご本人からご連絡くださる様、是非お伝えください。

各種講習会は、お料理、お菓子、ピーズ、ステンドグラス、北欧絵織物と実施しております。昨年からは材料費のみでご案内しております。これは、ひとりでも多くの同窓生に参加していただきたいの思いで始めましたが、参加者が増え皆様にご喜ばれております。

他の同窓会からの参加もあり、これも嬉しいことです。おひとりご参加されてもすぐに楽しい輪の中で一緒に楽しめる講習会です。

現在国内外でご活躍中のりべるての会員である先生方に教えていただける素晴らしい教室です。是非ご参加ください。

このところ、学院の厳しい財政状況を何とかにつけ、りべるてとしての様な協力ができるか考えてみました。恒例となりましたバザーの収益金はご報告のとおり、今までボランティアにも使っておりませんが、学院あつての同窓会として今年からは全額を学院維持協力会に寄付することにいたしました。そこで、バザーで販売する品物を「寄付くださる様、お願いいたします。家政科らしく、手作り品も大歓迎です。また、これを機会に家政科記念館にお出掛けください。皆様の温かいお気持ちをもとつとまじめ、学院のお役に立てればと思っております。

これに関連して十月九日(月・祝)カイパー記念講堂で維持協力会募金コンサートが予定されています。同封のパンフレットをご覧ください、三〇〇〇円のチケットをりべるてで購入していただくことも学院をサポートすることになります。りべるて役員一同は、これからも同窓生のための活動を目指して参ります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いたします。

### 二〇〇六年度役員

会 長	金子 和恵	D 51
副 会 長	村本とよ子	D 35
〃	小倉由紀子	D 43
書 記	北村 周子	D 43
〃	遠藤木美子	D 45
会 計	河合 恵子	D 47
〃	志村 嘉子	D 47
〃	石井 克子	D 43
総 務	鈴木 初枝	D 44
〃	近藤 誠子	D 44
〃	岩江眞理子	D 51
〃	堤 あをみ	D 55
〃	佐藤 昌子	D 57
会計監査	渡辺 晃子	D 40
〃	郷 祐美	D 43

## 恩師登場



# フェリスの想い出

古川 英



今年の第四回フェリス女学院大学同窓会総会に、りべるでの会長様から御案内のお便りをいただき、初めて緑園都市にうかがいました。友井先生の御案内で空気のよい高台にある校内をみせていただきました。私は一九七六年から非常勤として、一九八二年から一九八九年学科廃止迄の間、短大家政科助教授として勤務させていただきました。

初めてフェリスにうかがった時、私の知っている大学と違い、とても明るく先生方もスマートで学生も自由にのびのびした雰囲気なびっくりしました。それ迄横浜に御縁がなかったので、山手の雰囲気は外国の文化に一步近づいたようで、わくわくした事を思い出します。東京が文化の中心だと思っていた者にとつて、日本は昔船で外国の文化が入ってきたのだと悟り、横浜の歴史の重さに目が覚める思いがしました。帰りには元町や中華街で買物をして横浜迄

のドライブを楽しみました。元町の古い店の職人さんが誇りを持って、仕事をしている話を聞いて我家の家具もいくつか作って、今もフェリスの想い出と共に私の身辺を温かく見守ってくれています。

調理を教える関係で中華街の道具や、その頃まだ東京にはなかった食材等を見たり、買って帰り料理して勉強になりました。フェリスとは当時、西洋料理の友井先生、日本料理の永島先生、中華料理の矢野先生方がいらつしやり経験の浅い私は、いろいろと勉強させていただきました。

学生と旅行に行った時の事は印象深い経験でした。添乗員は大学出たての張切った青年で、食物料に参考になるプログラムを研究してとても助かりました。最初の宿で自己紹介をした時、クラブ活動の発表もあり大河内先生の御指導のダンスのクラブの学生が服装も用意して披露しましたが、若い添乗員はまじめに「失礼しましうか」と言いましたが、学生はその青年の事など眼中になく、のびのびと踊っていた事をなつかしく思い出しました。バスの中では当時まだ珍しかったカラオケセットがあり、学生は張切って「ダンシングオールナイト」を絶唱したりして楽しい旅をしました。

家政科卒業の方に今の時代だから伝えたい事があります。現代の日本の殺伐とした社会をたてなおすには、各家庭が家族の憩いの場所であればなりません。それには、楽しい食卓の集いが大切だと思います。社会生活が活動的になり毎回は無理としても、家庭の食卓に暖かい心があれば

ば家族は集います。それとフェリスとで学んだキリスト教の愛の心を大切にして温かい心でまわりの人に接して下さい。

今、子育てで忙しい世代の卒業生に私の経験として伝えたい事は、家庭にあっても情報化の現代勉強出来る事は多種あります。無理せず子育てが終わった頃自分としての生きがいのある物を見つめる準備期間として大切に使い、更なる発展を心から祈っております。

### 友井先生のお料理教室

6月8日、友井先生のお料理教室が開催されました。

メニューは、ビーフストロガノフとバターライス、レモンメレンゲパイでした。参加者の皆様から感想をいただきました。

●友井先生や先輩やお友達とお近づき出来てうれいす。とてもおいしかったです。 赤石真弓 D 60

●久しぶりに母校を訪れ、楽しいひとときを過ごせました。友井先生にお会いできてお料理も教えていただき、とても懐かしく思いました。

●友井先生のお元気なお姿拝見出来まして嬉しく思いました。楽しい一時、ありがとうございました。

木下その美 D 57



●久しぶりに学生時代に習った先生にお料理を教えて頂けて、学生にもどったような気持ちです。お料理も美味しくて、是非また伺いたいです。

生田 D 60

●何十年かぶりに坂を登り、気分は学生に戻りとても楽しかったです。また是非よろしくお願い致します。ありがとうございました。

岡嶋 D 60

●レモンパイのメレンゲ作りをしました。が、久しぶりにケーキ作りをとても楽しめました。友井先生のお元気な姿にホッとしました。 浄見真由美 D 44

●ビーフストロガノフは本格的な味、又、懐かしいレモンパイもたん能させて頂きました。又、来年も楽しみます。ありがとうございました。

前田聖子 D 44



# 世界の人形ふれあいクルーズ、横浜人形の家

小さい頃、お気に入りの人形をお持ちではありませんでしたか？おままごとのセットや、おひなさま。どなたも皆いろいろなお人形が、いろいろな場面で身近にあったのではないのでしょうか？

今年の4月22日、横浜人形の家がリニューアルオープンしました。来館者の利便性とバリアフリーを考慮し、大人から子供まで楽しめる施設となった人形の家は、「横浜発・世界の人形ふれあいクルーズ」ということで、いつ来ても楽しく、何回来ても、その都度新たな発見ができるミュージアムに生まれ変わったそうです。新しい館長には、石坂浩二氏が就任しました。

ここでは、開港以来横浜が国際化される経緯と友情をめぐるエピソードが紹介

されていたり、世界各国の民族人形が

展示され、文化の多様性を感じることができま

す。他に写真の展示もあり、人形と過ごした

子どもの頃の思い出がよみがえ

ってきます。

また、企画展示

室においては、さまざまなテーマに合わせ



て展示が更新されます。りべるて見学会のときは、セロイド展が開かれておりました。キューピー人形やかわいいだるまさん型の赤ちゃん人形を見て、懐かしさを感じるとともに、小さい頃手にしたことのあるものが、スポットライトをあびてケースの中に宝物のように展示されていることを不思議な気持ちで見えてまいりました。

また、宮廷絵巻を思わせるひな人形は、小さなお道具ひとつまで整い、大切に伝えてきた人々の暮らしを垣間見た気がします。ピストドールと呼ばれるフランス人形は、制作過程をビデオで見ることができ、それぞれのパーツも引き出しの中に展示してあります。素材に特徴のある世界各国の民族人形は、一見の価値があります。

同窓のお友達とさそいあつて、それぞれの思い出を一緒におしゃべりするの楽しいですし、またお一人でお出掛けになって、ご自分の小さい頃の思い出やお人形たちとそつとご対面するのも、時には心の栄養補給となることでしょうか。

横浜人形の家には、横浜駅からみなとみらい線で元町・中華街駅から便利です。または、横浜駅東口〜みなとみらい〜赤レンガ倉庫〜山下公園を結ぶ海のアクセスシーバスをご利用になられても楽しいです。横浜ベイエリアの名所を海から眺めながら移動できます。人形の家から、フランス山を通り港の見える丘公園へ。家政科記念館はすぐそこです。

問合せ先・横浜人形の家

横浜市中央区山下町18

TEL 〇四五(六七二) 九九六一

休館日 7、8、12月を除く毎月第3月曜日

入館料 大人500円 小人150円

## フェリス祭へお出かけください

十一月二日(木)・三日(金・祝)、家政科記念館において、毎年恒例のバザーを行ないます。

フェリスグッズ手作り品・寄贈品等を販売いたします。ティールームでは、美味しいケーキとお茶で皆様のお越しをお待ちしております。

秋の日の一日、ご家族とお友達とお誘いあわせて、山手の丘へぜひお出かけ下さいませ。

昨年の収益金は、フェリス維持協力会・ユニセフ・横浜市区社会福祉協議会へ寄付させていただきました。

バザー寄付先	
フェリス維持協力会	100,000円
ユニセフ	57,888円
横浜市社会福祉協議会	30,000円
合計	187,888円

## 献品のお願い

バザー当日に販売します日用雑貨品や贈答品等がございましたら、ご寄付下さいますようお願い申し上げます。

尚、未使用品で食料品・衣類は除外させていただきます。

● 受付期間：十一月二日まで

毎週木曜日、午前十一時〜午後三時

● 受付場所：家政科記念館

〒二三一―八七九〇 横浜市中区山手六八

家政科同窓会りべるて宛

郵送・宅急便でお送りいただいても結構です。

## 大森先生のお菓子教室

十数年振りに代官坂を登り、息を切らしながら家政科記念館の前に到着致しました。年月が経ても変わらない風景にホッと胸を撫でおろしました。

お菓子教室は、とても和やかな雰囲気の中で行われ、やさしい大森先生のもと、先輩方々と楽しいひと時を過ごす事が出来ました。ホットケーキミックスを使って出来る蒸しケーキ、その他イチゴ大福、胡麻ダングなどなど。主婦には嬉しい簡単で栄養たっぷりのお菓子達が可愛らしく並び、お紅茶と共に頂いた瞬間は、フェリスファミリーの一員なのだとかから実感致しました。我が家には育ち盛りの子供達がおおりまして、先生から頂きましたレシピやお出しになられた本を参考に楽しく作らせていただいております。とても暖かなお集まり。次回も是非、参加させて頂きたいと存じます。(滝澤寛子 D63)



## D43同期会のお知らせ

2007年に還暦を迎えるD43は、謝恩会で思い出の、ホテル・ニューグランドに於いて同期会を開催します。詳細は後日お知らせいたします。皆様おさそい合わせの上、ご出席下さい。

日時：07年4月23日(月)

場所：ホテル・ニューグランド

連絡先：池野美也子(旧中野)

TEL 04554315144

## 行事予定

二〇〇六年

十一月二日(木)・三日(金・祝)

フェリス祭参加バザー

午前十一時～

十一月八日(水)

ステンドグラス講習会

午前十時半～

十二月九日(土)

フェリス女学院同窓会

クリスマス礼拝

午前十一時～フェリスホール

二〇〇七年

一月 大森先生お菓子教室

三月 北欧絵織物教室

## 2005年度決算報告書

2005年4月1日～2006年3月31日

科目	金額(円)
前年度からの繰越金	13,746,248
今年度の収入	
利息収入	6,814
事業収益	301,189
基金運営費	2,618,861
名簿代金	80,000
寄付金	2,000
小計	3,008,864
合計	16,755,112
今年度の支出	
消耗品費	40,426
旅費・交通費	363,770
通信・運搬費	1,414,993
印刷・製本費	899,978
報酬・手数料	1,000
会議・会合費	40,992
諸会費	70,000
渉外費	87,263
雑費	21,930
修繕費	0
事業費	273,810
寄付金	0
小計	3,214,162
次年度への繰越金	13,540,950
合計	16,755,112

次年度繰越金明細	
定期預金(浜銀)	6,282,665
定期預金(郵貯)	2,635,109
定額預金(郵貯)	3,012,000
通常貯金(郵貯)	1,543,176
普通預金(浜銀)	0
名簿代預り金	68,000
合計	13,540,950

※監査の結果、相違ないことを確認致しました。2006年4月12日

## 2006年度予算

2006年4月29日

科目	金額(円)
消耗品費	
事務用	10,000
その他	60,000
旅費・交通費	350,000
通信・運搬費	
郵便料金	1,210,000
宅急便	10,000
印刷・製本費	940,000
報酬・手数料	5,000
会議・会合費	50,000
諸会費	70,000
渉外費	200,000
雑費	10,000
修繕費	10,000
事業費	0
合計	2,925,000

会計 河合 恵子 (印)  
志村 嘉子 (印)  
会計監査 渡辺 晃子 (印)  
郷 佑美 (印)

## フェリスグッズ

- 本革ブックカバー 文庫用 (エンジ・キャメル) 各 2,500円
- エプロン (黒・赤・茶・紺) 各 2,000円
- ハンドタオル (ピンク・クリーム・水色・黄緑・白) 各 450円
- スプーン フォークセット 500円
- 申し込み先 家政科同窓会りべるて Tel・Fax (045) 662-0750

## 心への浸透

音楽学部長 久保 浩



これからの音楽学部の20年、30年先のあり方を想像した時に、長年フェリスで多くの難題の解決を共有した私を感じることは、今、これをしておかなければならないということに注目して、斬新な発想とその実現に向けた確固たる地盤を養うことの重要性であろう。音楽芸術学科、演奏学科の2学科に改組して2年目になるが、なお一層の教育内容の前進と、音楽の真髄に迫りつつも時代のニーズを把握した総合的構築がより必要と思われる。急速な世の中の変化、特にITの信じられないほどの生

## 募金コンサートにご協力を

Fグループ会長 大谷 園子



Fグループの皆様、お健やかに。お過ごしでいらつしやいますか。私たちのFグループは今年、105名の新卒生を迎え、約3600名となりました。

この発展の歩みのなかで、草創期の音楽科を支えて下さった三宅春恵先生が昨年暮れ亡くなられ、私ども教えを受けた世代は、先生が残し伝えてくださったもの大きさを、改めてかみしめました。

一方、間もなく、学部改革のもとで学んだ卒業生が仲間入りしてまいります。増大し多様化する同窓生

活の中への入り込みは、人の精神生活の根本を揺るがす要素として、教育の世界にも大きく変貌を迫ってきていると言えよう。人間の脳すべてのメカニズムが解明される世の中が来た時は、音楽の世界も侵されそうであるが、しかし、当分の間、芸術は人類がコンピュータに犯されず神聖でいられる分野であると想像するし、そうあってほしい。今、音楽は多ジャンルにわたって、それぞれにその表現の手段、方法を模索しているわけであるが、それは声であつたり、コンピュータでの制作であつたり、舞台での楽器演奏であつたりで、いずれにしても「コミュニケーション」として、人の心に訴えることにかわりはない。そのなかで、音楽が成すことのできる「ひとの心への浸透」は、理屈ではなかなか解き明かせないことであるかもしれないが、すべての芸術を志す者がその心を忘れず、またそのことを今一度思い返した時、人類が「音楽をする意味」が再び蘇ることであらう。

の方々の期待に添えるよう、Fグループ役員は全員、今後も For Others の精神で活動してまいります。

その一環として、この秋は研修会を行わず、『モーツァルト生誕250周年記念コンサート』に全力で取り組みます。

ドイツ文学の権威で音楽にも造詣の深い小塩節学院理事長が講演をお引き受け下さいましたし、音楽学部の平松英子・渡邊明・黒川浩先生という豪華メンバーが演奏して下さいます(先生方全員快く無報酬でのご出演です)。カイパー講堂で、10月9日(月)・祝、学院全体の行事であり、維持協力が主催する『募金コンサート』です(募金の一部は老朽化した音楽学部校舎の改修にあてられるとか)。

卒業の学部や年次をこえ、学院が一つになる時を持つたとき、皆様どうぞ、お誘い合わせて初秋の山手にお出かけ下さいますよう、心からお願いたします。

2005年

## 音楽の贈り物

ジョイント・コンサート

2005.9.23. フェリスホール

初秋とは名ばかりの、残暑厳しい天候の中、卒業間もない方々による演奏会となりました。若々しいエネルギーに包まれ、フレッシュな雰囲気溢れた演奏でした。

卒業後も世界各地で学び続けたり、活躍する同窓生の躍進ぶりを知ることができ、すジョイントコンサートに、一人でも多くの方に足をお運び頂きたいと思えます。

(担当) 上月早苗・23回

【出演者】\*戸張有香(クラリネット独奏・54回)・小牧亮子(ピアノ伴奏)・山崎佑希子(ピアノ独唱・53回)・尾藤万希子(ピアノ伴奏・51回)・麻田絵里子(ピアノ独奏・53回)・細川由紀(ピアノ独奏・52回)・\*岩崎真由子(ピアノ独唱・52回)・大塚優子(ピアノ伴奏・52回)・\*伊賀香織(ピアノ独奏・51回)



研修会「11ヶ月の名曲を田塾の歌と解説」

2005.10.10. フェリスホール

音楽学部を34年間に渡りお導き頂き、この3月にご退職された本大学学部長である渡邊明先生、そしてピアノとして夫人の宮城令子先生をお迎えし、シューベルトの歌曲「冬の旅」全曲の演奏とお話を伺いました。当日は雨模様にもかかわらず、フェリスホ

ールはお客様でいっぱいとなりました。  
第一曲目の「おやすみ」のピアノが始まると、聴衆お一人一人の中に「冬の旅」の風景が現れたことでしょうか。私の目の前にも寒さで空気が張りつめ、固く閉ざされた冷たい石の家々が現れました。その凍てつく空気の中にこれから永く続くであろう厳しい旅を予感させる主人公の心の声が響き渡ります。

感動の中演奏を終え、この芸術作品の持つ精神性をいろいろな角度から解説して頂きました。  
(担当 榎原緑・28回)



## ランチャイムコンサート

2006.11.10 山手632楽舎

05年度ランチャイムコンサートは、日本や韓国においてメディア音楽の作曲、演奏をされている30回生の中村由利子さんをお迎えして開催されました。当日は学生を含めたたくさんの方々にお越しいただきました。日本や韓国のメディアで使われた曲やリクエストによる即興曲等を演奏して下さい、天気が良く暖かな632教室の中には中村さんの透き通るようなピアノの音が響き、心地よい空気が流れておりました。(担当 清水千晴・52回)



## 明先生の「冬の旅」を聴いて

音楽学部助教授 齊藤 京子 (34回)

昨年10月10日、普段とは違いなんともドキドキした気持ちで山手に向かった。

明先生の「冬の旅」。このコンサートだけは聴き逃すまい!と念願の日であった。

コンサートプログラムの冒頭に寄せられた文章で小塩節学院理事長が、「冬の旅」は人類音楽史上の「奇蹟」、誰しもが口ずさめるように思いがちだが、本物の芸術家であれば歌うことは出来ない、また、敬愛する

渡邊明さんが円熟の極みに立つて、芸術の完成の証として全曲を歌ってください、と述べられていた。まさにその言葉通り、明先生の歌は全くうそのない澄み切った心境を映し出し、それがそのままフェリスホールに響き渡って、私の胸に強く熱い感動を湧き起こした。美しく心地よい言葉と激しいパッションを伴ったレガート、そして息の合ったご夫人の宮城令子先生の伴奏でなんと安らかな運びの演奏であったことか。  
アンコールの「The Music」で、私の心は感謝の気持ちで一杯になった。聴衆全員をそう思わせるコンサートであったと確信する。

## 支部だより

### 北支部

芳川 真里子 (28回)

盆地山形ではまたとない好天気にお恵まれた5月、北支部会が行われました。山寺蔵王を散策しながら楽しい話しに花が咲いた有意義な一時でした。散策の後は露天温泉と、さくらんぼで疲れを癒し、会員名簿の確認をしながら再会を約束致しました。母校への愛と誇り、年月を越えた同窓生の絆を痛感し、また支部長はじめ当番の方への感謝を申し上げました。また思いも掛けず、倉長治子先生の本を拝読し、お優しく素敵な先生のお姿を思い出ししております。来年6月札幌でまた皆様とお目に掛かれます事を楽しみに致しております。

### 中部支部

森 純子 (45回)

中部支部は7月7日のふれっしゅコンサート

### 九州支部

川野 幸子 (25回)

福岡から九州支部音楽科の活動報告を致します。昨年9月「あれふ」ホールにて黒川先生はじめ若い演奏家達の演奏に益々フェリス人気が高まっています。また今秋にも久保浩先生などにご出演頂き、音楽学部だけの総会を予定しています。役員改選もありません。5年間支部長を務められた牛島惇子さん、長千英子副支部長に改めてお礼申し上げます。

## Fグループ2006年度 コンサートのご案内

### ジョイント・コンサート

9月18日(月・祝) 14:00開演

於:フェリスホール ¥2,000

【出演者】ピアノ:樋口かおり(44回)・早川満理(50回)

花井梨江(52回)・原野秀子(54回)

声楽:荒川美江(46回・院1回)・山形明子(55回)

### ティータイムコンサート

「オペラで生きる-生活の糧たるオペラハウス-」

11月9日(木) 14:00開演

於:フェリス女学院大学山手6号館632教室 ¥1,000

講師:井田 芳子(37回)

スイス・オペラハウスチューリッヒに合唱団員として在籍。

国家公務員としての生活、オペラハウスの仕組みなど、

お話と歌声をご期待ください。(申込先着50名)

《お問い合わせ・お申し込み》

Fグループ事務局(木曜日10時~17時)

Tel & Fax:045-681-6740

### 関西支部

支部長 柴田 美和子 (21回)

母校から遠く離れた地で、一粒ずつのフェリスの種が20年、30年かけて個性豊かな花々を咲かせています。今年新たな出合いを楽しみに、岡山・広島方面で支部会を開催予定ですので、演奏や楽しい話題を持って多数ご参加ください。秋のオールフェリス同窓会(大阪)は「弦楽合奏でモーツァルト」是非ご期待を!

短期大学名誉教授の三宅春恵先生が、昨05年12月9日天に召されました。87歳でした。先生は、フェリス女学院大学音楽学部の前身にあたる、専門学校音楽科の創設当初から、夫三宅洋一郎先生と一緒に、フェリスでの音楽教育にご尽力くださいました。「音楽学校のなかった横浜の地に美しい音楽を」との想いが深くあつたといわれています。

前夜祈禱会、ご葬儀には、最期のお別れのため鶴見教会にあふれんばかりの人びとが集まりました。長年のご指導に感謝申し上げます。謹んで哀悼の意を表します。

(関連記事掲載18ページ)

## 三宅春恵先生安らかに



東京生まれ。小学校から女学校まで福岡で育つ。東京音楽学校卒業後、「フィデリオ」マルツェリーネ役でデビューして以来、日本の代表的な名ソプラノとして「第九」はもとより数々のオペラやオラトリオに出演。オペラでは20余りのレパートリーを持ち、1952年、藤原歌劇団第一回アメリカ公演に客演として招かれて歌った「蝶々夫人」や、「夕鶴」つう、「フィガロの結婚」伯爵夫人の役は、とりわけ当たり役とされた。晩年は日本歌曲、バッハまたはパロック以前の作品の演奏にも力を注いだ。二期会の創立者の一人として後進のために尽くし、フェリス女学院短期大学音楽科では40年近く学生の指導にあたる。神奈川県文化賞、横浜文化賞受賞。勲四等瑞宝章を受ける。

## 三宅春恵さんとの出会い

短大名譽教授 倉長 治子

3月13日の彼女の誕生日を前にして、米寿を祝えなかつた淋しさを思っていた時、この原稿の依頼を受けた。この日から急に「はる」や「さくら横町」などの彼女の歌声と姿が、私の頭の中を飛び回る毎日が続き、70年もの憶い出は、日に日に重いものになつた。豊田春恵さんと逢つたのは、1935年(昭10)3月、東京音楽学校(現芸大)の入試合格者発表の日、母

たちが、この学校の先輩だつたと知り、喜びを二倍にした時だつた。その上、二人が環境の似たクリスチャン家庭に育つたせい

か忽ち親しくなつた様に思う。福岡女学院卒の彼女は、構内の寄宿舎に入った。入舎早々の彼女の逸話がある。新舎生の歓迎会で各自の自己紹介の時、彼女は突然、

堂々と梁田 貞の「昼の夢」を歌つて、自己紹介とした：とのこと。情感の溢れた美しい歌である。その座にいた上級生などの驚き

しになり、通学生の私にも、すぐ伝わつた。私は驚き乍らも、彼女ならではの：の歌への思いと表現力を羨ましく、将来を見た様にも

思った。歌のレッスンは、ヴァーファベニツと先生指導の日本語まじりドイツ語で、明るく、

厳しく。彼女は生き生きしていた。授業は、まだ珍しかった男女共学講義など、規律厳



しい中で、緊張・喜び・悩みの学生生活だつたが、野山歩きなどの遊びを多に楽しんだ。私たちは、何時ごろからか「大はる、小はる」と呼ばれる様になつた。(？……うべなるかな)と感じ納得した。1939年、私たちは本科を卒業し、研究科に進んだ。彼女は

この年、新響現N響の「フィデリオ」出演で名声を博し、華々しく活躍の道に進んだ。翌1940年、在学後半ごろから、お互いに大切に實らせた結婚式を挙げた。2年上級のピアノスト三宅洋一郎氏である。式は、

指路教会、宴はニューグランドで音楽に包まれた厳肅・盛大・美しい、異国情緒を覚えた。

その後の戦中・戦後は家庭にも音楽にも、多難な時代だつたが、

六人姉弟の長女として、しっかりと育つた彼女は、親・プリマドンナ・オラトリオなど幅広い分野の

歌手：1947年、夫君の「戦後の荒れた人の心に美しい音楽を」との祈りで始められたフェリス女学院専門音楽科(現大学音楽学

部)の教育者として、見事な人生を送つた。夫妻は良い「理解者」互いに「師」でもあつた様に思う。

私は戦後、彼女から「一緒に仕事をしたい？」と言われてからの「フェリス時代の40年間は、不思議なお導きと、感謝である。「大はる、小はる」の愛称はフェリスでも継がれた。

若い日の野山歩きは、後年、互いに夫婦連れの楽しい小旅にもなつた。

2006年5月8日

## 歌と共に

佐藤 ゆり (25回)

受験生として初めて春恵先生にレッスンしていただいた時の楽しさは35年経つた今も鮮烈に思い出します。それまで私が経験してきたレッスンは全く世界の違うもの、音を楽しむ音楽でした。先生は50代前半でいらつしやつたと思います。

その頃先生は一番声の調子の悪い時期で、思うように歌えず、ヴィオラ・ダ・ガンバなどを練習しながら、ご自分に合うヴォイス・トレーナーを探していらした時期でもありました。

後年その頃のお話をする時「歌以外の事はやつてみても面白くなかつたのよ。」とおつしやつていました。その後、木下武久先生をヴォイス・トレーナーとして、60代からは盛んに演奏活動をなさいました。リート、日本歌曲、パロックどれも聴く者の心をとらえる演奏でした。

十数年間、発声研究所に通われ、木下先生が急逝なさつた時は「誰に習つたらいいのかわからずとお嘆きでいらつしやりましたが、股関節の手術からも、洋一郎先生御世界のご傷心からも、78歳の時の脳出血からも歌への一念で回復なさいました。80歳の紀尾井ホールでのリサイタルは、満席の聴衆の心に深く生き続ける演奏でした。薄

紫のドレスで桜の生けられた舞台上に立たれたお姿は歌の精そのものでした。そしてその日のドレスで天国へ旅立たれました。

このページの写真・資料については、三宅ちとせさん(14回)と、神奈川県新聞社にご協力頂きました。

## 卒業生だより

モーツァルトイヤー2006のオーストリーからお便りします。

ドイツのフランクフルト音大で3年間ピアノと室内楽を学んだ後、ウィーンで暮らし始めた時はドイツが恋しかったのですが、ウィーンに住んでかれこれ19年にもなりました。現在、ウィーン国立音楽大学で伴奏専門講師をしています。また、オーストリア作曲家協会主催の演奏会でオーストリアの作曲家の作品を弾いたりしています。最近では女性作曲家の作品を弾く機会が多くなり、定期的に女性作曲家のコンサートシリーズをしています。

していますが、オルガンを弾く機会もあるので、カトリックの教会音楽コンセルヴァトワールでオルガンの勉強を始めたところなんです。これからの計画は、プロの音楽家・舞台芸術家によるコンサートで、様々な国のクリスチャンと共に主に捧げる新しい作品を演奏することです。

昨年亡くなられた恩師の塚本ルリ子先生がウィーンに長く住んでいたことを思うと、ここに生活している私があるのもフェリスで先生の指導に多大な影響を受けたからです。あらためて先生に感謝すると共に、母校の益々の発展をお祈り致します。



共に、母校の益々の発展をお祈り致します。

細木 朝子(30回)  
フェリス女学院短大  
音楽科ピアノ科専攻科

今年の夏も、日本に一時帰国して草津国際音楽フェスティバル&アカデミーで声楽クラスのアシスタントピアニストをします。エディット・マティス先生が今年もまたいらつしやるのが楽しみです。

その他、現地の教会で賛美奏楽を担当しています。

## 2005年度会計収支報告

<収入の部> (単位:円)

項目	予算額	決算額
終身会費	4,000,000	4,000,000
研修会費	100,000	163,000
ティーム会費	30,000	35,000
ジョイントコンサートの収入	280,000	298,000
宛名シール	15,000	27,160
雑収入	50,000	42,102
小計	4,475,000	4,565,262
前年度繰越金	2,214,060	2,214,060
収入の部合計	6,689,060	6,779,322

<支出の部> (単位:円)

項目	予算額	決算額
(1) 運営費	1,130,000	856,584
会費	30,000	8,761
印刷費	60,000	64,927
通信費	10,000	7,667
通人交際費	400,000	357,880
事務費	80,000	26,404
出張費	50,000	49,704
出張通費	60,000	40,600
通費	330,000	243,000
学年幹事会費	70,000	57,641
特別委員会	10,000	0
予備費	30,000	0
(2) 活動費	3,130,000	2,304,657
総会関係費	550,000	468,813
研修会関係費	330,000	331,680
ティーム関係費	130,000	112,372
会報関係費	750,000	523,411
ジョイントコンサートの収入	320,000	227,250
リサイタル後援費	100,000	80,630
支部関係費	550,000	408,845
支那関係費	200,000	139,206
予備費	200,000	12,450
(3) 諸費	370,000	370,000
連絡維持費	70,000	70,000
維持協力会費	300,000	300,000
(4) 積立金	750,000	750,000
名簿積立金	50,000	50,000
積立金	700,000	700,000
(5) 予備費	1,309,060	0
支出合計	6,689,060	4,281,241
剰余金		2,498,081
支出の部合計		6,779,322

監査の結果、妥当かつ正確であったことを確認しました。  
Fグループ会計監査 熊本 美也子 緑 有坂

## 学年幹事会

06年3月2日 山手632教室

出席人数33名。05年度一般会計収支報告及び会計監査報告、06年度一般会計収支予算案報告の承認を得ました。審議事項として、個人情報保護に基づく卒業生名簿への対応と、ディプロマコースのみの修了生の同窓会費についてが挙げられ、前者は検討続行、後者は入会を任意(会費は2万円とする旨が承認され、4月の総会にかけられる運びになりました。また、次年度の会長選挙に向けて選挙管理委員会も発足。自由討論が行われた後閉会となりました。

◆新役員紹介 常任 木村 則子(22回)  
(報告 栢之間玲子・46回)

## 選挙管理委員会からのお知らせ

### 任期満了に伴うFグループ会長の選挙

06年度末に任期満了となる同窓会会長の後任(任期は07年4月から3年間)は、会則に基づき選挙によって選出されます。

会長の仕事は、同窓生全員の代表として会の発展をはかり、母校創立の精神を尊重しつつ会員相互の親睦と発展に尽力することにあります。

自薦他薦に関わらず、選挙管理委員会への連絡をお待ち致しております。規約に従って立候補の手続きをとっていただくことになります。

立候補届出の提出期限…07年1月10日

提出先…Fグループ選挙管理委員会  
(Fグループ事務局気付)

Fグループ選挙管理委員会  
委員長…田口妙子(7回)

委員…栗原純子(15回)、篠崎まさえ(19回)、大原純子(22回)、中山智美(54回)

問い合わせは田口妙子まで  
電話(045)311-7290

「音楽学部推薦入試へ向けて」  
フェリス音楽教室(山手)  
受験科体験教室 生徒募集

日時: 2006年9月2日(土)  
山手校舎5号館  
高3以上 15:40~18:40  
高1・高2 16:50~18:30

お問い合わせ  
0467-31-7071  
成田 紀子(28回)

9月2日以降のお問合せ(土曜日のみ)  
045-641-8396  
フェリス音楽教室

## おめでとうございます

桑原 妙子さん(10回)  
06年3月プラハ国際合唱コンクール  
最優秀指揮者賞 受賞されました。

## Fグループ事務局

◆住所・電話・姓の変更・旧姓・整理番号(宛名ラベル右上にある7桁の英数字)と一緒にお知らせ下さい。

◆慶弔 同窓生、先生の慶弔をこゝへお知らせ下さい。

◆山手校舎6号館632教室の貸出し、宛名ラベル印刷、演奏会の後援を行っております。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

電話・FAX(045)681-6740  
Email: fgroup@feris.ac.jp

## ジョイント・コンサート出演者募集

毎年9月開催予定のジョイントコンサートはFグループ会員、音楽学部関係者であれば出演可能です。詳細は事務局までお問い合わせください。(書類選考あり)

## フェリス女学院維持協力会募金箱報告

Fグループ主催の催しで設置しております募金箱についても協力頂きありがとうございます。昨年度の募金額は合計で、35,603円になり、今年の1月10日、維持協力会へ振込みました。ここに略儀ながらご報告致します。

## Fグループ会報編集

金子明子(43回) 蔵増理恵(47回)

## 文学部の新たな飛躍に向けて

文学部長 渡辺 浪二



同窓会の皆様、ご健勝のことと存じます。宮坂学部長、森学部長に引き続き学部長を仰せつかりました。大学、とりわけ文学部を取り巻く状況は厳しいものがありますが、新たな飛躍に向けてわずかでもお役に立ちたいと考えております。どうか、皆様のこれ以上のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

ご承知のこととは思いますが、大学のハード的な環境はほとんど整備されたと言つてよろしいでしょう。キャンパスの中心部にあったプレハブは取り払われ、憩いの広場となりました。この場所から眼前に広がる富士山の光景は、心を慰める素晴らしいものがあります。富士には月見草よりも緑園キャンパスがよく似合うかもしれません。同窓会の皆様にはぜひ母校へ足を運ばれ、この景観をお楽しみいただければと願っております。

文学部は英文学科、日本文学科、コミュニケーション学科と3学科を揃えるに至りました。コミュニケーション学科は既存の2学科に加え、これまでとは異なる新たな領域への関心をもつ志願者を増やせるのではないかと期待しております。コミュニケーション学科では国家資格ではありませんが、社会学系の学会認定の「社会調査士」資格が取得できるようになりました。まだまだ社会的な認知度の高い資格ではありませんが、将来マスコミや企業の研究・調査・マーケット部門において注目されるスキルとして期待されます。

ところで、このような新たな体制ができ上がったことから、さらなる飛躍として大学院の整備が求められるかと思えます。現在、大学院は英文学研究科と日本文学科の2研究科であり、コミュニケーション学科にはその上に大学院が設置されておりません。近い将来、研究科の増設も視野に入れないければならないと考えております。同窓会の皆様には、今後とも文学部の発展に温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 学部創設一〇周年を迎えて

国際交流学部長 馬橋 憲男



同窓会の皆様、はじめまして。

さる四月に開催されましたりてら年次総会に出席し、皆様からキャンパス生活の思い出や、その後のご活躍ぶりについて貴重なお話を伺うことができました。なかでも女性にとつて学ぶことが大変であった時代に、あらゆる困難に立ち向かいつつ勉学に励まれたお話は、「学ぶ喜び」に溢れ、誠に感動的でした。

さて、国際交流学部はお陰様で今年創設一〇周年を迎えることができました。折から、時代は大きく、かつ急速に変わりつつあります。この流れの本質を見据えつつ、本学部の原点である「交流」を内と外で実践してゆきます。

特に重視するのは、学生が在学中に生涯の礎(いしずえ)となる、自分の考えや価値観を育み、社会で通用するコミュニケーション能力を身につけることです。高校まで

学習の対象はペーパー(試験)であり、メール世代であることから、自分の意見を述べたり、他者と議論するのが苦手な学生が少なくありません。社会に出れば、常に「人」を対象とし、一方通行ではなく双方向的なコミュニケーションの必要とされます。

そのために本年度から一年生を対象に「導入演習」を始めました。まず、読み書きをはじめ、基礎学力をより確かなものとし、その上で自分で考え、発表し、他のゼミ生と議論することを重点的に学びます。さらに海外留学、スタディツアー、企業へのインターンなどキャンパス外で実践的なトレーニングを積みみます。

一〇周年の記念事業としては、十二月にシンポジウム「地域からの国際協力(仮題)」を開催すべく準備を進めています。過去一〇年間の成果と反省を踏まえ、日常のかつ相互的な国際交流・協力について学生と教員が一緒に模索します。

同窓会の皆様、これからも、より一層のご理解、ご協力をお願い致します。

# 「りてら」の皆様へ

会長 田辺 真弓 (72E)

三つの同窓会の協力により第四号の会報をお届けいたします。

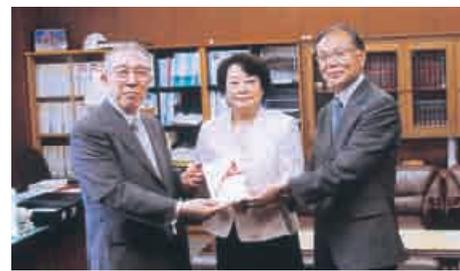
四月の学年幹事会で、出席幹事全員の賛同をえて、「りてら」からフェリス女学院維持協力会へ二百

万円が決定、五月末に学長にお渡しいたしました

(写真) 緑園キヤンパスにも、りてらショップから

得られた収益で、図書館横に西日を遮る、「ハンカチの木」が植えられる事になっていきます。りてらの皆様には、ランチ募金への協力と共に、温かいご支援に対し、心よりお礼申し上げます。

クラス会を開かれるときは、住所等については必ず一ヶ月前までに同窓会室にお問い合わせください。また、



「りてらフェリス会」として、地方支部の開設を希望なさる場合も、ご相談ください。

学生の方々には、同窓会を身近に感じていただく意味で、今年「同窓生による就職講演会」をグリーンホールにて開催しました。毎月の習字講習会(実用習字)では、学生と同窓生が共に、体育館ミーティングルームで、お稽古をする機会もっております。

一方、大学側のご努力により、入学志願者が、目ざましく増加をみせております。しかし小さな女子大ゆえ経営状況についての、バックアップが必要の状況にあり、同窓会で何ができるかを話し合っております。そして役員会では、りてらショップの通販に力を入れ、この収益を学院へのご支援の一つとしていきます。さらに十月九日(月曜・祝)、カイパー記念講堂での募金コンサートを、この会報にてご紹介しております。チケットは「りてら同窓会室」まで、faxにてお申し込みください。

(045・814・8966・fax 専用)

十一月四日・五日は、大学のフェリス祭が開催されます。ホームカミングデーとして皆様のお越しを、心よりお待ちしております。

## 決算報告

### りてら 2005年度決算報告

(2005年4月1日～2006年3月31日)

収入

項目	決算
終身会費	15,990,000
預金利息	13,811
雑収入	48,460
小計	16,052,271
前年度繰越金	23,288,825
合計	39,341,096

支出

項目	決算
事務用品費	141,924
印刷費	100,094
会報連費	3,742,240
総会連費	1,345,293
通信費	281,451
通関料	1,243,800
交雑費	556,545
手数料	17,640
パソコン関連料	7,183
会議費	354,702
卒業記念品代	105,711
交際費	888,000
備品費	121,134
リース料	81,250
一付	8,641
寄名簿連費	2,000,000
簿関連費	121,005
フェリス祭	8,960
小計	11,125,573
来年度繰越金	28,215,523
合計	39,341,096

### 2005年度りてらショップ会計報告

(2005年4月1日～2006年3月31日)

収入	
ジャパンパレヅ	921,562
りてらショップ	1,613,814
通販	305,820
白菊・その他	292,820
利息	26
小計	3,134,042
繰越在庫	1,503,685
前年度繰越金	2,998,527
合計	7,636,254

支出	
小林紙工	1,463,206
ワールドアイ・丸加	1,251,390
振込料	53,191
人件費	12,720
寄付	1,000,000
小計	3,780,507
来年度繰越金	3,855,747
合計	7,636,254

### りてら資産

りてら資産	70,000,000
-------	------------

監査の結果、適正なものと認めます。

監査 出口洋子

春日井 莉代

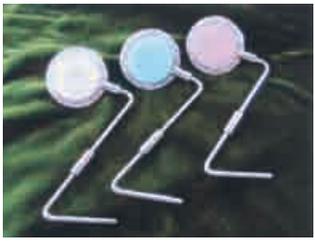
### バッグハンガーを製作——りてらショップから——

りてらショップでは約30種のグッズを販売しています。昨年作りました二種類のスカーフは会員の皆様から「好評を得ています」。

又、今年には写真のようなバッグハンガーを製作いたしました。お出かけの時バックにしるばせてカフェでレストランでご利用下さい。商品の利益は同窓会活動や母校への寄附等、有意義に使われております。

同封のグッズ一覧表でお申し込み下さい。

担当 松本世子 (71J)



## 卒業生紹介

### ◆ 風に吹かれて25年

石田 悦子 (82E)

大学卒業後すぐ、一九八二年の復活祭に横浜指路教会で洗礼を受けクリスチャンになりました。プラントメーカーで約十年働いてから、一九九二年に東京神学大学に入学しました。牧師養成の学校です。

一九九六年から三年間、東京の下谷教会で伝道師として働き、次の三年間は、四国の高知教会で副牧師として働きました。

写真はその時のものです。ネパールの服を着せて頂いています。ネパールで医

### ◆ 書くことと娘と私

三浦 睦美 (79J)

生まれてからずっと使い続けた石井睦美として児童文学を書いて二十年以上になる。そう思うとずいぶん長いあいだ書くことに携わってきたようだけれど、書き始めて、さあこれからという時と子育ての時期が重なって十年ほどは、殆ど忘れたフリをして過ごした。子供は小さいのに、目の前にその子供がいる現実が、私に圧倒的に大きくのしかかっていたからだ。

書くことをじぶんの真ん中におけるようになったのは、ここ数年のことだ。



そして三年まえ、駒井れんというもうひとつの名前で書いた小説で朝日新人文学賞をいただく幸運も得た。

そうなってみると、褒められてはうぬぬれ(まあ褒められることは滅多にないけれど)、貶されては起き上がれないくらい、いやいや実際起き上がれず三日ほど寝込む始末で、所詮才能がないんだ、書くことはあきらめようとも思った。

でも、三日目、やっぱりあきらめられないじぶんがいて、起き上がった。

それからしばらくしたある日、娘がこう言った。「ブルトンは言ってるんだけどね、書くのに才能なんていらなんだって。必要なのは情熱だけだつてさ」。

その言葉を聞いたとき、子育ての全ての苦労が報われた気がした。もちろん、その日を含めて三日くらいは。

### 学生対象の講演会を開催

りてらでは就職課と共催で学生ときから同窓会に親しみを持ってもらおうと六月二十一日(水)グリーンホールで就職希望の学生を対象にした講演会を開きました。講師はりてら会員の本多香苗さん(95E)、本多さんは勤務先の和幸商事(株)で採用担当の経験があり「これから就職する皆さんへ」というタイトルで、長く働くことの大切さ、会社選びのポイントなどを企業側からの視点も交えてお話しして下さいました。



講師の本多香苗さん(95E)

社会労務士の資格を持ち、実社会で活躍する本多さんのお話は将来、就職を考えている学生達に大変好評でした。

りてらショップでの収益金で図書館横に「ハンカチの木」三本が植樹されます。四月下旬から五月上旬にかけて花をつけ、白いハンカチで花をつんでいるように見える大変珍しい木です。





# りてらアーカイブ

母校フェリスを想うとき、教えていただいた先生のお顔を懐かしく  
思い出されることでしょう。

今回は三十年間フェリスで教鞭をとられ、短大、大学の草創期を知る  
数少ない先生のお一人、田中純蔵先生にご登場いただきました。

——先生、今日はお忙しいところを  
ありがとうございます。初めに短期  
大学草創期の頃の話をお伺いしたい  
のですが。

私は早稲田大学の大学院生であった  
一九五六年に英文学の非常勤講師とし  
てフェリスに来ました。短期大学は一  
五〇年に一号館の地下に設置され、ま  
ず英文科と家政科が発足、五一年に音  
楽科も開講し、学生数は各科とも二十  
名足らずだったと聞いています。五年  
に山永武雄院長が就任されました。山  
永院長は学院の財政的基盤を整える必

要を痛感され、同時に短大の設備整備  
を急がれ、五七年には二号館が落成し  
ました。英文、家政、音楽の三科とも学  
生の定員を増加しました。英文科を例  
にとれば、三クラスで百名という少数教  
育の目標を崩さぬ程度の増員でしたが。

——その頃四年制大学への移行も視  
野にいれられていたのでしょうか？  
山永院長は二号館の完成直後から四年  
制大学の構想をお持ちのようでした。六  
四年三月に院長、理事長、理事を中心  
に「大学設置準備委員会」が発足しまし  
た。この委員会は後に「大学設置実行委員会」



【田中純蔵先生】

1930年生。早稲田大学大学院卒。英文学教授。56年非常勤講師としてフェリス女学院短期大学英文科に。60年専任講師。63年助教授。65年四年制大学教授。73年英文学科主任。79年在外研究制度第一回研究者として渡英。80年大学学長に就任。86年3月退職。同年4月より2001年3月まで早稲田大学人間科学部教授。

と名称を変え、委員長の小倉聡助教、委員の五十川周作事務局長が中心になって  
ご尽力下さいました。そして六五年四月  
に英文科と国文科が開校しました。

しかしその年の九月に山永院長が急逝  
され、この事は開校したばかりの大学に  
とつて大きな痛手でした。

——大学創立前後、先生はどのよう  
な事が特に印象に残っていらっしや  
いますか？

第一に図書の整備に力を注ぎました。  
六十年にまず欲しい図書のリスト作りを  
し、院長室へ行き、「これだけは是非買っ  
てください」とお願いしました。

その後何度か増補して六四年早々に発  
注、八月頃書店から図書が続々と入荷し  
てきました。扇風機だけの暑い部屋で私  
が主に分類をし、司書さんと手伝ってく  
れた短大の学生諸嬢とが登録やラベル貼  
りを何日もかかってくれました。今で  
も当時のことを懐かしく思い出します。  
私は英文科の図書に係りましたが他の  
科でも同様の作業はされたと思います。

私としては「もつと欲しい」というのが  
本音でした。図書の充実こそが学生の勉  
学研究には欠かせない重要財産だと思っ  
ていましたから。

——フェリスで三十年もの長きに渡  
り教鞭をとられた先生が目指された  
教育の目標は何でしたか？

私がフェリスに来て、最初に言われた  
事は「学生を大事にする教育」という事

でした。それは少人数教育の中で育ま  
れる質の高い中身の濃い教育ということ  
だと思えます。

大学を大きくしてマンモス化しないか  
らこそ教師と学生の密な結びつきがあ  
り、肌理の細かい授業ができ、それが学  
生を大事にする教育につながっている  
と思います。これは今どきの大学では誇  
るにたる素晴らしいことだと思います。

——最後にフェリスへの思いと現在  
の日々の様子をお聞かせください。

フェリスに奉職できたことは私の人生に  
有形無形の大きな幸せをもたらしました。  
私は、関東大震災で殉職なさったミ  
ス・ジエニ・Mカイパー校長に私淑し、あ  
のようにありたいと常に思っています。  
無理なことは分かっていますが心がけだ  
けはいつも忘れないようにしているつも  
りです。

今は退職時に買い込んだ沢山の書物を  
読んで過ごす毎日です。我が家の長年の  
ホームドクターの奥様がフェリスでの教え  
子だったというような偶然ではあっても  
嬉しい出会いがあったり…。穏やかな日常  
に感謝し思い残すことはありません。

——本日は貴重なお話を長時間にわた  
りありがとうございました。

\*二〇〇六年五月二十九日にインタビュ  
ーさせて頂いたものを集約しました。先生は  
私達が学生の頃と少しもお変わりなくハン  
サムでダンディーでそして少しシャイでい  
らっしゃいました。

(坂井久子 62 E、春日井節代 62 E)

## 追悼 三宅春恵先生



### 「思ひで」

大学名誉教授・音楽学部前学部長

渡邊 明

日本の声楽の歴史の中で、圧倒的な存在と独特なオーラを兼ね添えたプリマドンナは数少ない。三宅春恵先生はその数少ないプリマドンナの筆頭と言っても過言ではないであろう。往年の名テナー柴田陸、私の師匠でもある中山第一、カルメンお静と言われた川崎静子と共にオペラ団体「二期会」を立ち上げ、日本のオペラ界の礎を築かれた春恵先生は、また三宅洋一郎先生と共にフェリスの音楽教育の礎を築かれた人でもある。考えてみれば何と大きな歴史を刻んだ人であっただろう。

春恵先生のスケールの大きいドラマティッ

クな生涯を知る人や語る人はもう少ないかもしれない。それが時の流れと言えばそれまでだが、「二期会」に育てられフェリスで30年間お世話になった私にとって、春恵先生から受けた音楽的な器量は実に大きい。思い出すのであるが、今から39年前、1967年に二期会、日生劇場、読売日響の三者合同共催によるオペラ公演、「モーツァルト作曲「フィガロの結婚」」で日本の名歌手、大橋国一や立川澄人らと共に先生も伯爵夫人役で出演するはずであったが、本番前のオケ合せ当日に、突然の降板の意思が告げられた。これは大変大きな事件であったが、しかしこの事件は決して先生の価値を下げるものではなく、私たちに先生の中に人には何い知れないプリマドンナとしてのプライドと生き様の葛藤があったのであろうと思われた。この後先生はオペラは歌われていない。このオペラ公演で私もアントニオ役でデビューしたことを思えば、ここから始まる私の40年の音楽人生はまさに春恵先生とのご縁の中にあつたと言える。

春恵先生がよくフェリスの講師控室の窓際に座りニコニコしながら編み物をしていて、姿が今でも目に浮かぶ。そこにはいつも不思議な安堵の時が流れていた。スケールの大きな人物はいつも人には穏やかなものなのだ。

合掌

(関連記事掲載12ページ)



## 同窓会支部だより

### 東京支部

東京支部のお便りを書かせて頂いておりまして、それをお読みになった方からのお問い合わせがときどき私のところへございます。嬉しいことです。学びと遊びのなかで、お互いの交わりを深め、母校との繋がりを確認していくのが、この会の趣旨なのですが、若い方々は、いろいろとお忙しいでしょう。どうしても会員の、そして役員の平均年齢が高くなってしまうのです。もう少し若い方に積極的に参加して頂くのが私たちの願いでございます。今は色々な行事にご出席下さることが難しくても、何か一つでも、お出来になることがあれば、お力をお貸しください。いままでの行事のほかに新しいご提案があれば、お聞かせください。因みに来年度は、例年の歌舞伎に加えて、劇団四季のミュージカルを観劇のプログラムに入れることに致しました。(今年の11月です)ご興味のある方はお問い合わせください。また去る5月末には田園都市線の青葉台で、お菓子の作り方を見学いたしました。見せて下さったのは、フェリスの卒業生の方です。その他、ビデオによるオペラの観賞、気

仙先生の読書会などは、会員以外の方もいつでも歓迎いたします。東京支部の活動にお一人でも多くの方が関心をお持ち下さいますなら幸いです。お問い合わせは左記へ。

澤崎玲子 TEL: FAX: 03-3775-14965  
高間美鈴 TEL: FAX: 03-3775-16279

FAX: 03-3778-11066

### 関西支部

関西支部の総会は会場を大阪・京都・神戸と順に廻りながら毎年十一月の第二水曜日に開催されております。

昨年は京阪神地区にお住まいの方のみならず、和歌山奈良滋賀、遠くは金沢や浜松などからのご出席を頂き、京都の健仁寺、祇園丸山に於いて四十名以上の方々と古都の紅葉を借景に京懐石を頂きながらの楽しい一日を過ごす事が出来ました。

総会はその年により院長先生をお迎えしてお話を伺ったり、それぞれの方々の近況報告を聞かせて頂いたり、音楽科の卒業生の方に演奏会を開いて頂いたり、毎年多彩なプログラムが用意されております。

For Others の精神のもと、同じ学び舎で青春を過ごした諸姉は、年令や学部の違いを越え年に一度の再会を楽しみ、旧交を深める語らいの場として、また思いもよらない友人の発見の場でもあり、転勤で関西にいらした方や関西に嫁いで間の無い方等の貴重な情報収集の場ともなり、また総会を利用して一泊旅行を恒例にして楽しんでおられる方々等、気兼ねのない語らいの輪が広がります。そして総会の締めくくりは全員で「清らかに」校歌を歌ってお開きといたします。

関西在住の方に限らず多数の方々のお運びを心よりお待ちしております。

関西支部 加納律子

- ニューヨーク事務所  
Mrs. Rakuko Kuwayama  
136 West 24 St. New York, N.Y. 10011 U.S.A.  
TEL 212-675-3840
- ハワイ事務所  
Mrs. Chizu Hatakeyama  
3043 Hollinger St. Honolulu, HI.  
96815-4211 U.S.A.  
TEL 808-735-1296 FAX 808-735-1579
- カリフォルニア事務所  
Mrs. Junko Yokota  
3117 Mabury Rd. San Jose, CA. 95127 U.S.A.  
TEL 408-923-4632 FAX 408-729-5669
- ロンドン事務所  
Mrs. Reina Shimizu  
121 B Ashfield St. London E1 3EX, U.K.  
TEL&FAX +44-171-702-8471

●同窓会は外国にもあります

フェリス女学院同窓会主催  
クリスマス礼拝

《日時》  
2006年12月9日(土)  
午前11時～12時

《場所》  
フェリスホール

《説教者》  
フェリス女学院大学  
大学チャプレン 廣石 望先生



クリスマス礼拝  
のご案内

\*フェリス女学院全同窓会主催  
皆様、どうぞご参加下さい

2005年度 フェリス女学院同窓会連絡会 会計報告  
(2005年4月1日～2006年3月31日)

前年度繰越金	640,732
収入	
全同窓会維持費 (70,000×4)	280,000
利息	6
小計	280,006
合計	920,738
支出	
各支部(東京、西南、関西)へ祝儀 (含、郵送料)	61,060
体育館奉献式お祝	100,000
クリスマス礼拝関連費	93,595
慶弔費 (三宅先生お花代、松永先生弔電)	11,627
備品購入	649
合計	266,931
翌年度繰越金	653,807

2005年クリスマス礼拝献金先

献金総額	129,349円
日本ユニセフ協会	32,337円
日本キリスト教海外医療協力会	32,337円
難民を助ける会	32,337円
社会福祉法人日本医療伝道会	32,338円

西南支部

主に感謝して。  
同窓生の皆様、御健勝にお越しの事と存じます。

私共、西南支部同窓会は年に一度、秋に同窓会を開催しております。中高、英文科、家政科、国文科そして音楽科とのすべての卒業生の方々の同窓会です。

昨年は国文科の卒業生の方々に幹事をお願いし、菊竹美枝さん、杉野由美さんのお二人には、大変お世話になりました。理事長の小塩節先生に、「言葉と音楽」と題して御講演をして下さいました。言葉が生まれた時、そして言葉の必要性、人間の誕生、又言葉と音楽との関係等、とても興味深く有意義で楽しい時を持つ事が出来ました。今年の幹事の方々は英文科の水江篤子さん、大神薫子さんです。お世話になる事と思いますが感謝です。

そして、昨年まで役員をお世話になりました支部長の木村朱美さんを始め、待山百合子さん、真莉常子さんには五年間気持ち良く、ご尽力を下さり本当に感謝でございます。今年から微力ではありますが、大野満里さん、廣石登茂子さんと共に、責任の重さを感じながらも、出来る事を精一杯務めさせて頂きたいと思っております。フェリス女学院で学ばせて戴いた、たくさんの宝物に感謝し、今後共同窓会の発展を心よりお祈り申し上げます。

西南支部長 伊藤和子

(音楽科24期卒)

白菊会より

この三年、りてら・りべるで・Fグループの皆様が緑園で一緒に総会を持ち、各々に個性を発揮しながらも心をひとつにしてゆかれる様子を拝見していて、とてもうれしく、心強く感じております。

私も白菊会も、昨秋には、普段は同窓会室で開いているしらぎくティータムを「緑園キャンパス訪問」に変え、さまざまな工夫がちりばめられている新体育館やエコキャンパスを、本間大学長直々のご案内で楽しく見学させて頂きました。緑園の光と風を肌で感じながら、皆、大学がずっと身近になった温かい思いをお土産に持ち帰ることができたのが、何よりも嬉しいことでした。

これからも、大学同窓会との交流の場をできるだけ持ちたいと思っております。皆さま方も、中高フェリス祭の折には、ぜひ山手にお出かけ下さいますように。

フェリス祭

11月2日(木)・3日(金)  
白菊会 喫茶・バザー  
2号館 同窓会室

山手通り正門  
同窓会受付から  
ご入場ください

問合せ 同窓会室(火・木 在室)  
TEL. 045-641-5200

## サークル紹介

### 聖書を学ぶ会

お話し 気仙三先生  
日時 第二木曜日10時半～12時  
十二月は第三木曜日 クリスマス会  
場所 中高同窓会室  
連絡先 杉浦 昌子(S26)  
〇四五(三三五)一一〇五

### 書道サークル

初心者の方でも気軽に入会できます。  
日時 第四木曜日 一時～四時  
場所 大学(山手六号館別館二階)  
連絡先 望月幸子(S6E)  
〇三(三七二七)九一八五

### デジグリークララ

指導 田中 順先生  
日時 月二回水曜日 一時半～三時  
場所 白菊会同窓会室  
連絡先 鈴木道子(S41)  
〇四五(九三三四)七六〇三

### 英語読書会

指導 吉野洋子先生  
日時 第三水曜日10時半～12時  
場所 中高同窓会室  
連絡先 伊藤 眞美  
〇四六七(四三三)〇八九九

### 世界史講座—キリスト教と世界史—

講師 棟居 洋先生  
日時 第三水曜日10時半～12時半  
十二月はお休み  
場所 中高同窓会室  
連絡先 教原安子(S48)  
〇四五(四三三)五六九九



## 大学音楽学部演奏会のお知らせ

- ◆12月15日 第27回クリスマスコンサート 神奈川県立音楽堂  
クリスマスオラトリオ(1～3部)他  
出演 指揮:小泉ひろし  
Sop.平松英子、Alt.田中奈美子、  
Ten.蔵田雅之、Bas.土屋広次郎 他  
開演 18:30 料金 ¥2,000
- ◆07年3月14日「メサイア」 神奈川県立音楽堂  
出演 指揮:小泉ひろし  
Sop.平松英子、Alt.菅有実子、  
Ten.蔵田雅之、Bas.星野 聡、  
Cemb.浅井寛子、Org.宇内千晴  
開演 18:00 料金 ¥2,000

問い合わせ:演奏委員会室 TEL 045-681-5189

## Fグループ演奏会のお知らせ

- ◆9月18日 ジョイント・コンサート フェリスホール  
開演 14:00 料金 ¥2,000
- ◆11月9日 ティータイムコンサート 山手6号館632教室  
「オペラで生きる—生活の糧たるオペラハウス」  
講師:井田 芳子(37回)  
開演 14:00 料金 ¥1,000

問い合わせ:Fグループ事務局 TEL 045-681-6740

※詳細はP11に掲載

### 永眠者(お届けのあった方)

大学名誉教授  
永山 文夫先生 二〇〇五・九・六  
短大名譽教授  
三宅 春恵先生 二〇〇五・一一・九  
塚本ルリ子先生 二〇〇五・九・二  
加藤 康雄先生 二〇〇六・一・一五  
福岡ひとみ姉(D49) 二〇〇五・四・四  
志水 真美姉(D61) 二〇〇五・六・九  
金田端枝子姉(D37) 二〇〇六・二  
中鉢 彩子姉(D32) 二〇〇六  
Fグループ  
猪俣 幸代姉(38M) 二〇〇五・三・二  
石井 朝美姉(37M) 二〇〇五・一〇・一  
りてら  
先山 裕姉(74E) 一九九六・六・三  
小野寺恵子姉(78E) 二〇〇二・九  
遠藤 節子姉(58E) 二〇〇三・二・五  
相澤 澄子姉(56E) 二〇〇五・三・二  
斉藤瑠美子姉(61E) 二〇〇五・四・二七  
森 裕子姉(79J) 二〇〇五・六・二八  
謹んで哀悼の意を表します。

## 大学祭

FERRIS FESTIVAL 2006

### テーマ: Ferris Colors

開催日時:十一月四日(土)・五日(日)  
十一時～二十時(両日出店は十七時まで)  
開催場所:緑園キャンパス

## 入学案内

フェリスの入試が変わります!  
二〇〇七年度入試では、「センター利用入試」の後期日程を導入、また募集人員の増員も行います。詳しくは、大学Webサイト「入試インフォメーション Ferris NAVI」をご覧ください。

## 教員をされている同窓生へ

同窓生の現役教員(中学・高等学校)のネットワーク作りをしています。

詳しくはメール:kyoshoku@ferris.ac.jp  
電話:〇四五・八二二・八二九(三まひ)連絡を。

## 編集後記

「フェリスはひとつ」の心を示す、三同窓会合同の総会開催と、会報の発行も4年目を迎えました。今年も、情報満載の会報をお届けできますことを感謝いたします。会報には、様々な催しが掲載されており、どうぞ何かひとつでも参加していただけたら幸いです。思いがけないよい出会いが皆様をお待ちしています。

## フェリス女学院大学同窓会会報

二〇〇六年八月発行  
担当:家政科同窓会りべるて

〇四五(六六二)〇七五〇  
Fグループ 〇四五(六八一)六七四〇  
りてら 〇四五(八一二)二八六九二